

## 平成29年度 第1回行政評価委員会 議事録要旨

日 時	平成29年7月10日（月）午前10時～11時50分	
場 所	市役所 本庁舎 第10会議室	
出席者	委 員	横山幸司委員長 村林聖子副委員長 磯貝禎之委員、市川彩委員、鳥居保委員、松岡万里子委員
	事務局	副市長、企画部長、行革・政策監、経営管理課長、 経営管理課長補佐、経営管理係担当
次 第	1 市民憲章唱和 2 委員長あいさつ 3 副市長あいさつ 4 議題 (1) 平成29年度公開行政レビューについて (2) 平成29年度公開行政レビューの事業選定について 5 その他	

1 市民憲章唱和

2 委員長あいさつ

3 副市長あいさつ

4 議題

(1) 平成29年度公開行政レビューについて

(事務局説明)

・委員

1点目ですが、1ページのレビューのポイントに事業数が5事業から3事業に減ったことをここに入れなくてよいのかということです。それにあわせて、6ページにまとめた主な変更点にも事業数を減らすことは載せた方がよいと思います。事業を減らす理由として、1ページのレビューのポイントの②に関連すると思いますので、表現を変更して、「市と評価員との活発な議論を図るため、事業数を減らす」という形にしたら良いと思いました。説明において、緊張感を保つため、減らすとありましたが、それは実質的な理由なので、ポイントの②に入れた方がスムーズと思います。

2点目が会場レイアウトです。会場に行ったことがないのでわかりませんが、コーディネーターが市民評価員の方を向いたときに、市民評価員の表情や手を挙げているのかがわかるのか、心配なところがあります。コーディネーターのところは明るくて、市民評価員のところが暗いと手を挙げているのかがわかりづ

らいということと、表情を見て当てることもあると思いますので、スクリーンに説明者と行政評価委員がいて、コーディネーターは市民評価員に近い位置の方が良いと思いました。会場の雰囲気もあると思いますが、やはり表情を見ながら当てる場所が出てくると思います。

3点目ですが、5事業から3事業に減らすというときの根拠として、レビューのポイント②をあげているところがあると思います。そうすると、選定区分①から2事業と模擬事業を選定して、選定区分②から1事業を選定する根拠がわからないので、教えていただきたいです。

- ・委員長

以上の点についてお願いします。

- ・事務局

事業数を減らすということについては、レビューのポイントや主な変更点のところを修正させていただきます。

私どももホールの確認をしましたが、まだ設営はやっていないところもありますので、コーディネーターから市民評価員が見やすいようにレイアウトを設定してまいりたいと思います。

なぜ2つに区分を分けたのかということですが、レビューのポイントに②が活発な議論をするため、事務事業総点検の中から選定をする事業と、ポイント③が市の事業を知る機会ということで位置づけさせていただきまして、事業を理解していただいて事業をよりよくする改善の視点での議論ということで分けさせていただいております。

- ・委員

区分が分かれているのはいいのですが、なぜ選定区分①から2事業と模擬、選定区分②から1事業となったのですか。おそらくバランスの問題と思われるが。

- ・事務局

市の事業を知る機会という区分を新たに作ったため、バランスを考慮しております。

- ・委員

数のバランスとして、選定区分①が2事業で、選定区分②が1事業は納得ができません。ですので、模擬事業は選定区分①と②から選定するほうが良いと思います。今のままだとバランスが良くないと思います。

- ・委員長

私が思いますのは、まず市の事業知る機会という表現があまり良くないと思っています。両方とも知ってもらおうという面はあると思いますので、どちらかという選定区分①は市で事業点検をした結果、選定した事業であり、それだけではなくて、事務局が中心となりながら市としてそれ以上にレビューに諮りたい事業として特別に選定した事業というような表現の方が良いと思います。

模擬事業をどちらの区分で行うかは、議題の2で議論したいと思います。

また、事業を減らした理由としては、3事業を集中的に行うことにより、より充実した時間でやるということが良いと思います。そういう事業で絞ったということを出された方が良いと思います。

- ・委員

事業区分のところで気になっている点として、今の表現は市として周知を図る事業となっているということは、この事業については今年度以降も継続されているということを前提にしているのか。

- ・事務局

そのとおりです。

- ・委員

わかりました。

- ・委員長

他の委員の皆様はいかがでしょう。

- ・委員

市の事業を知る機会というところで、市民の立場として、例えば、なぜあんくるバスが選定区分②に入っていないのかということがあります。設定区分②は、安城市として周知したい部分として、市民の方が興味を持ってくれる事業にすると会場も盛り上がると思います。例えば、今話題になっている健幸でしたり、安城市としてキーワードになっている事業を入れるのも良いと思います。

- ・委員長

ご提案としては、そのようなことも1つと思います。

- ・事務局

選定区分②につきましては、事業の開始から浅い事業を選定しております。

- ・委員長

他の委員はいかがでしょう。

- ・委員

10月13日の模擬レビューはアンフォーレを使ってくれるのですか。

・事務局

模擬レビューは市民評価員にレビューに慣れていただくことに重視しているため、現状は市の大会議室を予定しています。

・委員

ホールはすごく立派で天井も高いですし、全然雰囲気違いますので、会場の予約の都合もあると思いますが、模擬でもなるべく同じ会場で、同じレイアウトでやられた方が良いと思います。

・事務局

調整させていただきます。

・委員長

委員どうぞ。

・委員

市民評価員の質疑応答のルールで、再質問の制限を設けないと表現があるが、コーディネーターの裁量がありますので、制限を設けないという表現ではなく、再質問は可能というような表現の方が良いと思います。

・委員長

委員の意見に賛成です。

模擬レビューと市民評価委員への説明会は分けていただきたいです。これをまとめてやりますと、長丁場にもなりますし、その場で初めてルールを知って、すぐに模擬レビューを行うということは、市民評価員は大変きついと思われます。模擬レビューの前にレビューとはどういうものか、また、先ほど委員が言われたルールを徹底していただきたいと思います。そしてその場で事業の概要をご説明いただいたうえで、模擬レビューをするといった2段階にした方が良いと思います。そこはぜひお願いしたいです。

・事務局

委員長の御提案のとおり市民評価員が選定された段階で、模擬レビューの前に説明会を開催させていただき、模擬レビューに臨めるよう日程の調整を今後させていただきます。

・委員長

委員いかがでしょうか。

・委員

説明で市民評価員の募集をする際に、市民抽出では18歳から50歳と説明が  
ありましたが、これは今年度が初めてですか。

・事務局

昨年度は、20歳以上から50歳未満で抽出をしておりますが、今年度は18  
歳に下げさせていただきました。

・委員

先ほどの事前の説明会は18歳が入ってくると土曜日等に設定して、徹底でき  
るかが少し不安なところがあります。理想の形では確かに事前に説明会を設ける  
ことは大切ですが、徹底できるのか不安がよぎったことと市民評価員を10名に  
減らしたことによって、母数自体も減っているの、期待した若い人たちが本当  
に交じるのかという気がします。

・事務局

あらかじめ日程を通知することによって、手を挙げていただくような形でやっ  
ていきたいと思えます。

18歳の方が応募していただけるのか、そういった部分はあると思えますが、  
門戸は広げさせていただき、本当に気持ちのある18歳以上の方に来ていただく  
ということで、応募がなかった場合は結果として受け止めたいと考えています。

・委員

事前の説明と模擬レビューを分けたほうがいいという意見はその通りだと思  
います。心配なのは事前説明会の際に、行政評価委員がいない形で、市の職員が  
市民評価員に説明するという形になったときに、第三者の目がないのは心配なと  
ころです。市のほうから誘導的な説明がなされてしまうということの疑義が生じ  
てしまうので、事前説明会をやるにしても行政評価委員の複数名が立ち会った形  
にしていただきたい。後で市民の方から何か言われたときに抵抗できないのでは  
ないのかという心配があります。

・委員長

可能な限り私たちも参加することにしましょう。事務局は日程調整をお願いし  
ます。

・事務局

9月下旬で説明会を開催したいと思えますので、調整をさせていただきます。

・委員長

レイアウトのことですが、顔が見えればいいと思えます。明るさはどうでしょ

うか。

・事務局

非常に明るいです。

・委員

今のレイアウトですとコーディネーターがスクリーンをみることができないという問題もあります。

・委員

行政評価委員に寄せてもいいと思います。

・事務局

コーディネーターは事業説明の際は、見やすい位置に避けていただくことを考えております。

・委員長

真ん中をあけて左右になるような感じでしょうかね。

・委員

私のイメージは説明者と市民評価員の間で間を繋ぐようなイメージです。

・委員

レビュー当日はカーテンが開いてて、上からも見える様子ですか。

・事務局

今のところは通りがかりの方も何をやっているのか気づいていただいて、中に入っただけのようなことも考えております。

・委員

模擬練習の時には慣れる意味も込めてこちらでやっていただけたらと思います。

・事務局

アンフォーレに大変多くの方が訪れていただいておりますので、2階の図書情報館に来るつもりで、ホールでこのようなことをやっているのなら、覗くケースもありうると思います。

・委員

事前説明はあまり人数が少ないので、この会場ではなくても別の会議室でやることはできるのですか。

・事務局

会場が空いていれば、近くに多目的室だとかもありますので、そこでも十分にできます。アンフォーレでできるように会場は確認させていただきます。

- ・委員長

ありがとうございます。従来より改善された形になると思います。本日、委員の皆さんから御意見をいただきましたので、修正できる点は修正していただくということで、概ねよろしいでしょうか。

- ・委員

自由に入って来られる傍聴者に対して、レビューへは参加できないといったルールは別途周知されるのですか。

- ・事務局

傍聴のルールは受付で冊子をお渡ししていますので、受付で周知してまいりたいと思います。

- ・委員

子どもがすごく多いです。その辺りの制限はきちんとしなないといけないと思います。

- ・委員長

そこは考えないといけないところですね。例えば、傍聴者であっても事前申込みにするということもありますが、当日、中に入れないと問題にもなりますので、柔軟さが必要になってくるとはと思いますが、一定のルールの下で傍聴を認める必要があると思いますね。

- ・委員

傍聴者席のすぐ近くはイベントの出入口になっています。11月12日の公開行政レビューは日曜日の午後なので、たくさんの方が来られることが想定されるので、同日にどのようなイベントがやられているのかは確認する必要があると思います。

- ・事務局

会場の制限についても考えないといけないと思っております。

- ・委員長

同日のイベントで鳴り物が予定されている行事等は確認されているのでしょうか。

- ・事務局

会場の外のイベントはまだ確認していないため、早速確認させていただきますが、二重ガラスですし、遮音性は非常に高いですので、外の影響はほとんど受けないと思います。

・委員

階段を降りないと席に行けないですか。

・事務局

傍聴席をフラットにすると階段を降りないといけませんが、現状はフラットにする予定はないので、そのまま席へいけます。

・委員

議会の傍聴ほど厳密にしなくてもいいと思いますが、まだ当日まで時間があるので、公民館等で事前に整理券を配布して、当日傍聴席が空いていれば、その残数を注意したうえで入っていただくというような制限をかけた方が良くと思います。

・委員

そうすると、傍聴者の名簿ができますよね。誰でも聞けるという趣旨が違ってくると思います。

・委員

去年はどうでしたか。

・事務局

人数確認で、傍聴者には記名をしていただいています。これまで文化センター等で行ってきたときの傍聴者は、行政関係者がほとんどでした。今回はアンフォーレにさせていただいた趣旨の1つに、いろんな方にこういうことをやっているということを知っていただきたいということもあります。通りがかりの人が何をやっているのかと思っていただき、入っていただくのも、我々の狙うところでございます。

・委員

受付のところで、入っていただく方に少し説明をしていただいたり、お声かけしていただきたいと思います。

・事務局

受付等でそのような役割を置かなければいけないと考えております。

・委員長

その辺を手厚くしていただきますようお願いいたします。審議会ほどではないですが、ある程度一定のルールが必要かと思えます。ぜひよろしく申し上げます。

(2) 平成29年度事業選定について



(事務局説明)

・委員長

この場で当日の3事業と模擬の1事業を選んでいただきます。既に市から本番につきましても秋葉いこいの広場施設管理運営事業はお願いしたいと、残る2事業につきましても選定区分①の中から1事業、選定区分②から1事業を選定してほしいとのことですね。それともう1つ模擬事業もあんくるバス利用促進事業を提示されているわけですが、委員の皆さんにお諮りしたいのは、まず市として提示されている対象事業でよろしいのかということ。あるいはこの中で入れ替えるのか、そのようなことも含めてご意見をいただきたいと思います。

まず、1点目ですが秋葉いこいの広場施設管理運営事業を本番1事業としてよろしいでしょうか。それからあんくるバス利用促進事業は模擬事業としてよろしいかということをお諮りしたいと思いますが、いかがでしょうか。

・委員

去年のことがありまして、施設管理がとても難しかった記憶があります。施設管理の話ですと、廃止するのが良いのか悪いのかという話にどうしてもなってしまうと、今回環境学習機能の移転について意見をいただきたいというところまで、そこに論点が集中するのか、すごく疑問があります。施設管理という事業で環境学習機能がどうあるべきかみたいな話をすることは可能なのでしょうか。

・事務局

事業名は施設管理運営事業となっておりますが、秋葉いこいの広場の設置管理条例の中には環境学習センターとテニスコートという施設があり、市の環境学習を推進するような内容がございます。たまたま事業名が施設管理運営事業となっておりますが、中身は環境学習の機能とテニスコートの2つあるということでございます。

・委員長

建物の廃止をした場合に、その機能は別の場所、機関でやっていくというような議論になれば論点としては成り立つと思います。

・委員

施設を継続しない前提で説明をいただけるのですか。

・事務局

はい。

・委員

廃止したいではなく、廃止するとの考えでいるのですね。

・事務局

基本的には、市としてはそういう考えでいます。

・委員長

なかなか言いづらいですが、はっきりしないと返って議論が混乱しますから、市としてはそういう方向性を考えているということは言っていると思います。委員どうぞ。

・委員。

環境学習は必ず残さないといけないと考えています。近くに安祥閣がありますが、あまり有効活用ができていないと思いますので、環境学習については安祥閣も含めて有効活用をしていただきたいと思います。環境学習で有効活用されれば、一石二鳥だと思いますので、お願いします。

ただ環境学習は残しても全然違う場所に移転しては難しいと思いますので、安祥閣は長くは使えないかもしれないですが、場所が良いですので、お願いします。

・委員長

ぜひ本番に質問していただきたいと思います。委員いかがですか。

・委員

先ほど委員が言われたように8ページの秋葉いこいの広場の課題ですが、この書き方ですと、混乱をしてしまう。前回の勤労福祉会館は論点がずれたと思いますので、この事業を取り上げるなら施設は閉じるが、中の機能をどうするのかということにするのか、施設だけにするのかということは決めないといけないと思います。

・事務局

ありがとうございます。

・委員

秋葉いこいの広場については頻繁に利用させていただいていた立場から言いますと、非常に良かったです。安城市はすごく恵まれていて、ほかにもたくさん同じようなことをやっているところがあります。ですので、この施設を廃止することは、私は市民として、賛成ですが、ただ他の施設がこういうことをやっているということをまだ知らない人もいますので、逆に他の施設を宣伝する場としても使っていただきたいと思います。今後のソフトの部分はどうしていくのかということまで論点として入れてると、すごく大きな話にもなると思います。

ので、廃止にすることというところまでにするのか、今後のソフトの部分も論点に入れるのかということころは検討したほうがよいと考えます。

- ・委員長

委員どうですか。

- ・委員

秋葉いこいの広場は、秋葉の中だからこそ実現できる環境教育という意味があったと思います。そこから移転をするということについてはやはり中身の機能をどこに移すのかということころからのスタートになると、とても壮大な話になると思われま。今ですと、民間企業とNPOと一緒に運営をやられてて、良い形で環境教育を展開していると思います。委員が言われたように安祥閣やデンパークという環境学習にも活用できるスペースもありますから、安城市は環境教育をどのように展開するのかということになると壮大な議論になっていく気はしました。

- ・委員長

事業評価シートに関連事業という欄を設けていますので、ここの場所がなくてもいろんな関連の事業をやっているだとか、また別の場所もあるということを書いていただく必要があると思います。また、論点が壮大にならないように私も気をつけたいと思いますし、また委員の皆様の御協力をいただきたいと思います。

秋葉いこいの広場施設管理運営事業を対象事業にするということについてご異議はないですか。

- ・各委員

(異議なし)

- ・委員長

それともう1つですが、あんくるバス利用促進事業を模擬レビューでやるということでございますが、これについてはいかがでしょうか。

- ・委員

これは利用促進事業だけというところでも混乱が生じるのではないかという点が心配です。おそらく路線がどうといった話になるという気がしますが、その部分をどのように仕切りができるのかというのが大きな課題だと思います。

- ・委員長

そのとおりだと思います。公共交通問題とか足の問題になると話が広がっていくことになると思います。

- ・事務局

利用促進に絞った論点にしたいと考えております。

・委員

質問は出ると思いますので、関連事業については答えていただけるように準備をしていただきたいと思います。

・事務局

わかりました。

・委員長

よろしいでしょうか。では、あんくるバス利用促進事業を模擬レビューとしたいと思います。

それでは選定区分①の中から行政評価委員会で1事業を選定するというのですが、これだけの人数ですので、多数決で決めたいと思います。皆様お考えはまとまっていますでしょうか。それでは、挙手をお願いします。1番目の広報あんじょう発行事業が良いと思われる方は挙手をお願いします。3名ですね。

続きまして、私立高等学校等授業料補助事業が良いと思われる方は挙手をお願いします。いないですね。市民盆踊りの集い開催事業が良いと思われる方は挙手をお願いします。3名ということで分かれましてね。挙手された理由をお願いします。委員をお願いします。

・委員

広報事業が1番市民の人に関わっている事業ということと、残りの2つは非常に狭いと思います。盆踊りも青年団の話までいけば大きな感じはしますが、あくまでも盆踊りの話なので、幅広くというところで広報あんじょうにしました。

・委員長

委員はいかかですか。

・委員

私も委員と同じで今回初めてアンフォーレでレビューをやるということも含めて、やはり1番親しみのある広報あんじょうが良いと思いました。

・委員長

委員はいかがですか。

・委員

私も同じ理由です。

・委員長

お聞きしたいのですが、議論の発展性という面ではどういうことが想定されま

すか。この回数を減らすか否かということになると些末な議論になると思います。広報手段とかそういうことも含めて議論の発展性があるかという点についてはどうお考えになりますか。

- ・ 委員

広報の発行回数を2回から1回する一方で、もっとSNSやインターネット、電子媒体を活用していくといった方向に話が広がっていくと思っています。

- ・ 委員長

委員はいかがですか。

- ・ 委員

逆にあえてもっと広報あじょうに興味を持っていただきたいという思いもあります。広報の発行回数を2回から1回というところが論点になると思っています。

- ・ 委員長

委員はいかがですか。

- ・ 委員

広報を見ない人はウェブサイトにしても、紙にしても見ないと思います。その中身にまで触れると発行回数が1回や2回といった以前の話になりますが、ただ今の見る人にとっては紙ではなくウェブサイトを通じて見ていると思いますので、変更するタイミングと言えば、変更するタイミングと言えますが、やはり発行回数が月に1回になったときにタイムリーな情報発信ができるのかという問題もありますし、紙でしか見ることができない高齢者の皆さんも多いですので、発行回数を1回にするのはどうかとも思います。

- ・ 委員長

SNSもありますし、反対意見も出ると思います。このような論点になるということですかね。

では、盆踊りについて意見ををお願いします。

- ・ 委員

私は広報と盆踊りで悩みまして、広報は発行回数だけではなくて、例えば内容をどうするか、タイムリーな情報だけを載せて1カ月経てば捨てるでもいいというものにするのか、例えばタイムリーな情報は抜き取って他は捨てることができ、保存版みたいに残せるページがあるみたいに作るのかとか、そのような話をしたり、日本語ではない広報のあり方とか、広報紙の必要性とかそういう話ができる

のであればおもしろいと思いましたが。ただ、今回の論点だけだと物足りないと思いきまして、盆踊りにしました。盆踊りも青年団自体があって、今まで盆踊りができていたのだけど、これからは青年団の実情もあり、盆踊りができなくなりますが、どうしますかという問いかけをするという意味で言うなら、市民に周知する必要があると思いきまして、盆踊りにしました。

- ・委員

盆踊り問題はたかが盆踊りですが、この文化というのはいろんな要素があって今に至っております。それは過去いろんなところでやっている行事についても全て同じことが言えます。若手がおらず、高齢者ばかりということもありますし、また、時間がないといった様々なことがあり、こういう祭事がどんどん減ってきています。そういった中で、今まで50年近くやっている盆踊りの火を消すということが惜しいです。やることは大したことないのですが、火を消さずに何か補うことがないかということをご提案して議論することは意味があると思います。

- ・委員長

ありがとうございます。私も市民盆踊りに挙手をしましたが、委員がおっしゃるとおり青年団による盆踊りというのはやめても、その文化として、あるいは市全体でのお祭りというものを今後、どのようにほかの場でやっていくのか、というようなことについては、議論の余地はあると思いきまして、私はこれを選びました。委員の皆さんの広報に関する御意見を聞きますと、内容も含めて考えるとこれは議論の発展性があるとも思いました。改めて、他の委員の皆様のお意見もお聞きしたところで、再度広報あじょうがいいのか、市民盆踊りがいいのか、挙手をお願いします。

- ・委員

この盆踊りの実際の開催形態といった現状はどうなっているのですか。青年団自体が少なくなっているということでしたので、開催地が減っているといったことですが。

- ・事務局

こちらは市のイベントになりますので、市の総合運動公園でやっております。ただ青年団がほとんど機能していないのが現状です。

- ・委員

場所は1カ所ですか。

- ・事務局

1カ所です。広報あんじょうですが、現在発行回数を2回から1回にするかどうかを現在、研究しておりますので、レビューの場で市の方向性がどこまで定まっているのかは課題がございます。レビューの意見を参考にさせていただきたいということで選定している部分もあります。

- ・委員

広報の外国語対応は別の事業と聞いたことがあるのですが、どうですか。

- ・事務局

今は月2回ですが、1日号だったと思いますが、外国人の方に必要な情報は翻訳したページを設けております。それは秘書課ではできませんので、別の課で翻訳していただいて載せています。

- ・委員

こちらの事業とは別なのですか。

- ・事務局

大枠で捉えれば、広報あんじょう発行事業と同じです。その中に入っています。やり方がほかの課にお願いしているだけということになります。

- ・委員長

それでは、もう一度挙手をお願いします。広報あんじょう発行事業を対象事業としたほうが良いと思われる方、挙手をお願いします。先ほどと変わらず同数ですね。

- ・委員

一度選定区分②に移りませんか。

- ・委員長

では、先に選定区分②から選定をしましょう。それでは、学校図書館教育推進事業が良いと思われる方は挙手をお願いします。4名ですね。それでは、ホームチームサポーター事業が良いと思われる方は挙手をお願いします。2名ですね。多数決ということで学校図書館教育推進事業にさせていただきたいと思います。

冒頭でも申し上げましたが、これは事業を知ってもらうというだけの意味ではいけないので、市民の意見を聞いて効果的な事業にしたいとありますが、やはり市としてどういうことを考えているのかということは前面に出す必要はないですけど、腹案としてはぜひ持っておいでいただきたいです。出たところ勝負で意見をくださいということはないでいただきたいです。

- ・委員

この事業については、学校の司書の雇用の仕方をどうしているのか、どれぐらいの期間そこにいるのか、という話しが関係すると思いますので、その点は確認してください。

- ・事務局

わかりました。

- ・委員長

委員はどうですか。

- ・委員

学校司書については事前に今の状況について子供に聞いてみました。下の子は全く理解をしていませんでした。上の子は、半分理解をしていて、新しい先生が来たと話をしていたのですが、実際どういうことやっているのかということまでは具体的に理解をしていませんので、そういった現場の意見をどこまで吸い上げていけるのかということと、実際に学校司書がやられていることは今まで学校の先生がやられていたと思いますので、学校司書の仕事が現場ではどれくらい余裕をもってできているのかといった現場の声もあるといいと思いました。

- ・委員長

委員どうですか。

- ・委員

私も中学校の学校図書館の担当をやって、忙しい激務の中、図書館の管理と新刊本を注文したりしていました。非常に大変な中で先生方が図書館の教育に関わっていただいています。平成28年には学校司書を15名に増員しているのはうれしいなと思います。学校司書はやることは限りなくありますし、可能性はものすごくあります。アンフォーレができたらどれだけアンフォーレを中心にいろんなことができるのか、すごく希望のある事業だと思います。現状と司書が増員されたことによって、どんな良いことが起きたのか、ということを強調していただきたいと思います。また、図書館が担っている本だけではない部分も含めた大事な役目を広く安城市民の皆さんに知っていただける機会として、アンフォーレができた良いタイミングで知っていただけるとと思います。

- ・委員長

ありがとうございます。主管課にお伝えください。委員はどうですか。

- ・委員

ホームチームサポーター事業は、うちの会社のチームを応援していただい



るので、中立が取れないと思い、学校図書館教育推進事業にさせていただきました。

・委員長

委員お願いします。

・委員

今回は学校図書に話が決まりましたが、これはこれで非常に価値のある事業だと思います。また、金曜、土曜、日曜日では自転車でアンフォーレに来る小学生が多く、アンフォーレが出来たことによる大きな効果だと思います。市民に周知を図りながら事業効果を上げるという点では、ふさわしい内容だと思います。

・委員長

ありがとうございます。ここは学校図書館教育推進事業にさせていただきたいと思います。それでは、選定区分①のほうですが。いかがいたしましょうか。

・委員

今まで選定されたのが、環境や図書館でしたので、分野も含めて検討することもできますね。

・委員長

学校図書館は教育委員会、秋葉いこいの広場は環境都市推進課、あんくるバスは都市計画課、見事に分かれていますね。広報が秘書課で、市民盆踊りが教育委員会ですね。政策分野のバランスということもありますね。事務局はどうですか。

・事務局

委員の皆様で議論を尽くしていただきたいと思います。

・委員

市民盆踊りを所管している生涯学習課には市民盆踊りを審議する審議会や委員会はありますか。

・事務局

それに特化したものはおそらくないと思います。

・委員

選定区分②からスポーツ課のホームチームサポーター事業を選定することは可能ですか。市民盆踊りは対象が青年という部分になってきますが、ホームチームサポーター事業だと可能性がもう少し幅広くなりますし、これからの健幸について、市民とどう盛り上がっていくのかという方向性で議論をすると、広がっていくと思いました。

- ・委員長

それもありですかね。他のところから持ってくるのはどうかと思いますが、この中での入れ替えは大丈夫だと思いますが。最初に私が申し上げたように知ってもらいたいという表現を変えればいいです。これは市として、レビューに取りあげるといふふうに考えれば、そこは入れ替えても良いと思います。

- ・委員

今、悩んでいるところの区分でいうと、この広報というのは市として、どのような形で情報を提供すべきか、ということに係るところなので、市の姿勢がはっきり出ないと、議論にならなくて、アイデアを募集して、お終いとなり、レビューをする意味がないと思います。意見を聞くだけなら、別の方法があると思います。盆踊りに関しては、今までこういう盆踊りをやってきているのですが、継続できるかどうか、どういう担い手が可能なのかという真意に問いかける形にはなるとお思いますので、たくさんの方の市民の方に聞いていただく意味があると思います。

- ・委員長

本来はしがらみがあって切れない事業ですとか、行政が言い出しにくかったことをここに挙げてきたということは大変意義のあることだと思います。私も文化とかは好きですが、一方で私は社会教育論をやっていますが、かつては盛んであった社会教育団体による事業は軒並み危機的な状況にあるわけです。そういう中で今までと同じことをただ漫然と繰り返して、人が集まらないと言っているけれども仕方がないですね。そこはきちんとスクラップして、余力を新しい事業としてビルドするということは、本来このレビューにふさわしい事業だと思います。そういう面ではやはり捨てるべき事業だと思います。

ホームチームサポーター事業は市の予算を削って、企業からの寄附を募るといふような議論もありえます。テーマはいいですが、そこまで覚悟をもってやらないと厳しいと思います。そういう面ではもう少し練られた方がいいと思います。来年のテーマにしてもいいと思います。

- ・委員

盆踊りですが、生涯学習課はこのままだと開催ができないというぐらいのことを言う姿勢はあるのでしょうか。

- ・事務局

現状ですと青年団協議会は残っていますが、かつては町内ごと集落ごとに青年

団がありましたが、これはもう壊滅状態です。単位組織がなくて、青年団協議会という上部だけが残っている状況です。この2、3年は青少年の家が主催しているユースカレッジのOBの方々がてこ入れをされて、開催にこぎつけている経過はございます。

- ・ 委員

青年団の活動のアピールの場にはなっていないということですね。

- ・ 事務局

そのとおりです。青年団としては非常に苦しいという状況です。委員の皆様を見ますと意見が拮抗されているという状況で、先ほど事務局からは委員の皆様に委ねるとご返事をさせていただきましたが、広報の発行につきましては、eモニターを含めたアンケート等を取る手段がございますので、今回は市民盆踊りをテーマにおあげいただいて皆様のご意見をいただくような格好でやらせていただければとお願いさせていただきたいと思っております。

- ・ 委員長

両方とも甲乙つけがたいテーマでございますが、事務局がおっしゃったように盆踊りの方が切羽詰った問題であると思っておりますので、今年度につきましては市民盆踊りの集い開催事業を対象事業とさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

- ・ 各委員

(異議なし)

- ・ 委員長

ありがとうございます。

(議題終了)

## 5 その他

(事務局から今後の予定の説明)